

【ご閲覧の皆様へ】高齢化を迎えた昨今、皆様にも知っていただきたい要素について緑色で表記しています。用語・表現については是非ともご質問いただけたらと思います

①姿勢ケアってどうして必要？

特養に入所されている利用者さまは、加齢や、それぞれの疾患、後遺症や、寝たきりの影響で身体が固くなっていきやすい。

食事がしにくくなる、排泄が難しくなる、更に病気が進行する…つまり**廃用症候群**がすすむ。



②姿勢ケアの目的

生活場面に、適した姿勢を整えるケアによって、

身体の固まり(関節拘縮)を**予防できる！**

食事がとりやすくなる、介護負担を軽減できる！

つまり、**廃用症候群を予防できる！**



③姿勢ケアに取り組んできた課題

- #1 医療領域の知識も必要で難しい！
- #2 うまくいく時、いかない時の違いは？
- #3 福祉用具が合わない…。
- #4 勉強する時間がとれない。
- #5 ケアの統一が図れない。

大切さをかみしめ、手探りで進めた一年。

④課題に対して

解決策① #1～4 **理学療法士の採用**

介護福祉士が、医療分野の考えを学ぶ機会が沢山ふえました。少しずつケアも上達しています♪

解決策② #5 **介護リーダーを中心とした情報共有をすすめていく**

交代勤務でも、意思疎通を図れるようにノートや、写真での共有を適切におこなうことが重要。

⑤取り組みの紹介 ～福祉用具を見直して、眠りが改善しました～



円背姿勢で、仰向けでは、頭がベッド面につきません。肩も浮いてしまい、背骨の圧迫が強くなりやすくお尻も痛くなりやすい。



よく眠れるようになりました

今回は背部をすっぽりと覆うU字型のクッションを使用し、左記に挙げた、痛みの影響は概ね取り除かれました。

枕を二つ重ねてみたり・・・
タオルで調整したり・・・
再現も難しい(ご本人も調整に遠慮してしまう…)

※クッションの選定については、ご本人に合っていないと逆効果です。今回は幾つか検証の末、お身体に合った物を選定できました。

今後の取り組みの課題と展望

【課題】姿勢ケアの実施した内容、細かい変化の記録を残すこと。

【展望】チームでの情報共有につながり、姿勢ケアに継続性がうまれる。
⇒チームとしての姿勢ケアの標準化

今後の目標

【目標】梅寿荘の介護福祉士の専門性を高め質の高い介護ケアを展開していく！

今回のポスター作製にご協力いただいた、利用者さま、家族さま、スタッフのみなさまに感謝申し上げます。
梅寿荘ポジショニング委員会一同